

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

| | |
|----|-------|
| 組織 | 建築住宅課 |
| 職 | 課長 |
| 氏名 | 竹内 正人 |

| | |
|---|--|
| 組織の使命・役割 | 何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か |
| 公営住宅等の整備、適正な管理や民間住宅等の誘導による良質な住宅供給、建築関係法令等による安全な建築物の誘導により、誰もが安心して快適に生活できる住まい、まちづくりを推進する。 | |



| | | | | | | |
|--|--|------------|-------------|------------|-------------|---------------------------|
| 組織の目標 | 使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か | | | | | |
| (定性的目標) | 何をどのような状態にしたいか | | | | | |
| ① 環境にやさしく活力と魅力ある住まい・まちづくり ② 災害に強く安全に暮らせる住まい・まちづくり ③ 誰もが安心して暮らせる住まい・まちづくり | | | | | | |
| (定量的目標) | 具体的な指標、目標値を設定する | | | | | |
| | 目標とする成果指標 | 現行値 | 年(度) | 目標値 | 年(度) | 目標値の設定根拠(他県との比較など) |
| | ① 一定の省エネルギー対策(※1)を講じた住宅ストックの比率 | 26.4 % | H20 年度 | 40 % | H27 年度 | 石川県住生活基本計画 |
| | ② 住宅など建築物の耐震化率 | 72 % | H20 年度 | 90 % | H27 年度 | 石川県新長期構想(改定) 石川県耐震改修促進計画 |
| | ③ 公益的建築物等(※2)のバリアフリー化率 | 59.0 % | H25 年度 | 70 % | H27 年度 | 石川県新長期構想(改定) |

(注) ※1. 一定の省エネルギー対策・・・二重サッシまたは複層ガラスを使用するもの
 ※2. 公益的建築物・・・病院、劇場、集会場、展示場、百貨店、学校その他不特定かつ多数の者が利用する建築物を指す
 ※3. ①は、「H20住宅・土地統計調査報告書」による数値



| | |
|--------------------------|--|
| 26年度に重点的に取り組むべき課題 | 左記の具体的な内容を記載する |
| ①住宅の省エネルギー化の促進 | 温熱環境に配慮した住宅を支援し、住宅の省エネルギー化の促進を図る。 |
| ②住宅、建築物の耐震化の県民への普及・啓発 | 住宅、建築物の耐震化に関するパンフレットを作成し、説明会の開催等により県民に普及・啓発を図る。 |
| ②木造住宅の耐震化の促進 | 木造住宅の耐震診断や耐震改修工事を支援し、耐震化の促進を図る。 |
| ③公益的建築物や住宅のバリアフリー化の促進 | 講習会の開催やバリアフリー推進アドバイザーの派遣により、公益的建築物や住宅のバリアフリー化の促進を図る。 |
| ③県営住宅の計画的な建替等の整備 | 老朽化や陳腐化した県営住宅について、バリアフリーや環境等に配慮しながら建替等の整備を行い、居住水準の向上を図る。 |